

## これからの訪問看護ステーションについて

こうなん訪問看護ステーション 管理者 三村 希代子

こうなん訪問看護ステーションに異動して、早半年以上が過ぎました。以前も訪問診療で在宅には関わっていたのですが、やはり部署が違くと新しく覚えることも沢山あり、あっという間に毎日が過ぎていきます。こんな私ですが他スタッフがしっかり支えてくれていて、本当に感謝しています。

訪問看護をしていると利用者の方をはじめ、御家族、ケアマネージャー、他事業所と連携をとっていくため、たくさんの出会いがあります。ひとりでは解決できない問題も、皆で意見を出し合い、協力しながら考えていく姿勢はとても勉強になります。利用者の皆さんも、今までの生き立ちや、様々な出来事の話をしてくださり、うれしいことは一緒に喜んだり、時に涙したり、そんなひと時を過ごせるのも訪問看護の魅力のひとつです。

こうなん訪問看護ステーションは、こうなんクリニックの1階に事務所があります。そこから毎日、看護師5名、理学療法士5名、作業療法士3名の職員が訪問に出かけていき、事務2名が事務所を守っています。利用者さんは140名弱で、一日3～7件の訪問をしています。訪問から帰ると、2名の事務員が明るい笑顔で迎えてくれ、ホッとさせてくれます。介護保険を使用されている方だけでなく、年齢が若くても障害がある方の訪問もしています。

訪問看護の内容は、血圧測定などを含む状態観察、点滴や床ずれなどの医療処置、カテーテルの管理、排便コントロール、清潔の保持、療養上の指導、相談などです。契約された方には24時間の緊急対応もしています。営業時間外でも困ったことがあれば電話で相談を受けたり、看護師で対応できることであれば夜間でも訪問したりしています。また、当ステーションはリハビリにも力を入れており、利用者さんから喜ばれています。在宅でのリハビリは、実際の生活の場で行いますので、動作で困っているところはその場所を使ってリハビリや評価をすることができます。経験のある理学療法士、作業療法士がリハビリを行いますので安心してご利用いただけます。

今後は高齢化と病院の入院日数の短縮に伴い、ますます在宅療養が増え、訪問看護の需要も増えていきます。高齢になると寝たきりになる率も高くなり、年々独居や老夫婦世帯も多くなっています。高齢で飲み込みの機能が落ちてくると、食べる量が減り栄養不足になったり、肺炎になりやすくなったりします。独居や老夫婦世帯では、介護力不足で床ずれができることや、衰弱が進むこともあります。また、早期に退院すると病状が悪化する可能性も高く、点滴や医療処置が必要な場合も多くなります。

また、人生の終末期を自宅でできるだけ安楽に過ごしていただくことも訪問看護の大切な仕事だと思います。私たちもより質の高い看護が提供できるように努力していく必要があります。

利用者の方に満足していただける看護をしていくと共に、明るい笑顔と温かい心もお届けできるような訪問看護ステーションにしていきたいと思っています。





# リハビリ俳句・川柳に185句

自由会事業部長 折野 和己

第四回「ほほえみリハビリ俳句・川柳」に応募作品185句が寄せられました。とてもうれしいことは毎年、内容が濃くなり表現の幅が広がっていることです。また、応募者の幅も広がり、退院された患者さんや実習見学に来てくれた学生さんなど、より自由会の周辺の方々が積極的に参加してくださりました。

この企画は職員間、職員と患者さんやその家族との距離を近づけるため、そして日本語の表現能力を上げるため始められました。いつか、高校生たちの俳句甲子園のように全国区になっていくように、皆様のご協力をお願いします。

12月25日の表彰式に参加して下さった皆様の笑顔がどんどん広がって、いつもほほえみであふれている自由会になっていきますように。



## f Facebook (フェイスブック) はじめました♪

広報委員会

岡山光南病院、こうなんクリニックでは、平成24年11月よりソーシャル・ネットワーキング・サービスのひとつであるFacebookの運用を開始いたしました。

外来の変更や休診、院内外の研修、病院・クリニックの取組み、イベント・リクルート情報など、これまで広報誌、ホームページでは伝え切れなかった多くの情報をレスポンスよく発信していきます。どうぞご利用お願いいたします。

病院アドレス

▶ <http://www.facebook.com/kounanhp>

クリニックアドレス

▶ <http://www.facebook.com/kounancl>



# 住み慣れたご自宅で生活するために

こうなんクリニック 看護師リーダー 赤木 政美

『やっぱり住み慣れた我が家が一番』この感覚は、旅行から帰ってきた時、何らかの用事で少し家を空けていた時など、必ず抱く感覚ではないでしょうか？病院から退院してきた時は、それ以上の感覚だと思えます。

現在日本では、その『住み慣れた地域』で長く生活できる為に『在宅医療』に力を入れています。それをサポートするのが、私達『在宅療養支援診療所』の役割で、日々患者さんやご家族に満足していただけるよう取り組んでいます。しかし、まだまだ試行錯誤の部分も多いため、愛媛県松山市で積極的に在宅医療に取り組まれている『医療法人ゆうの森 たんぼぼクリニック』へ見学に行ってきました。

このクリニックは11名の医師と、22名の看護師で松山市内の患者さん600人を診療しています。医療現場での最大の課題は、『関わる職種全員が、同じ情報を共有する』事で、私達も常に課題としていますが、たんぼぼクリニックの規模でどのような方法を取っているのか非常に興味がありワクワクしながら見学にいきました。

たんぼぼクリニックは、独自のシステムを使用し患者さんの経過が詳細にわかるようになっており、それぞれの職種が互いを尊重していることもあり、しっかりとしたチームが出来上がっていました。

『自分が患者だったら…』『自分が支えている家族だったら…』と心のケアを含め色々な角度から患者さんにより良い療養生活を提供できているのだと感ずることができました。

私達スタッフは、たんぼぼクリニックを見学して、まだまだ足りない部分や課題を多く発見することができ、住み慣れた地域で患者さんが安心して療養生活を送れる様に、今回学んだ事を一つずつ実行していきたいと思えます。



## 通所リハビリテーションに **新**しいマシンが導入されました

こうなんクリニック 理学療法士 前田 真幸

平成24年12月26日から、こうなんクリニックの通所リハビリテーションへ新しいリハビリマシンが導入されました。今までのマシンは、筋力強化の事を優先に設計されていたため、リハビリで使用する方には座るだけで



も大変な物が多くありましたが、今回導入されたマシンは運動できる方向や強さのセッティングも細かく出来るようになり、利用者の皆様にも使いやすい設計になっています。さらには簡単に筋力測定ができるものもありますので、ご自身の筋力の状態もその場で確認して頂けます。

もちろん、この優秀なマシンに任せるのではなく、スタッフ一同利用者さんの困っている事について、共に考え、共に悩み、face to faceで向き合っていく姿勢を大切にしていきたいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。



# 福祉用具について ～更衣～

介護用品・介護機器は「福祉用具」という用語で統一されています。福祉用具にも種類が沢山あります。今回はこの福祉用具の中でも更衣においてよく使われるものを紹介したいと思います。

## 更衣自助具



リーチャー

手が届かないところのものを遠距離操作でつかむものです。身体の不自由な人の行動範囲を広くするとされています。寝たままで遠くのものを引き寄せたり、ものを拾うことが困難な場合に用いる道具です。片手用、両手用等があり、使用者の筋力や関節の動きを配慮して機種を選択します。



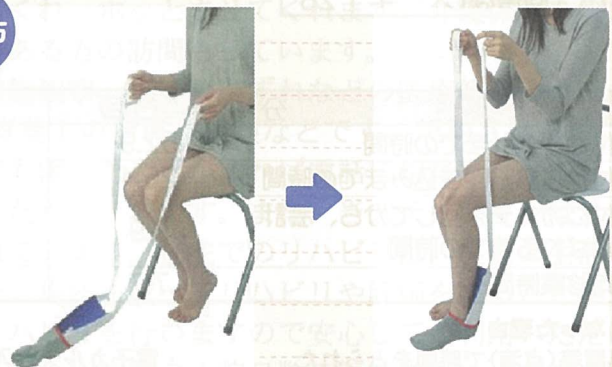
ボタンエイド

手指に障害がある人がボタンを留めるために、ボタン穴に差し込み、ボタンを引き出してボタンをかける道具です。指先で小さなボタンを持つことが出来にくい、麻痺などにより片手でボタンをしなければならない時に使用すると便利です。



ソックスエイド

### 履き方



股関節や膝関節の曲げ伸ばしが難しく、靴下をはくのが困難な場合などに使用します。足首の動きを必要とするため、足首の動きに制限がある場合はこれを使用しても困難な場合があります。また、指の細かな動きが難しい方、靴下のゴムが固い場合は使用しにくいこともあります。

これらの自助具は購入すると高価なものもありますが、簡単に作成できるものもあります。普段の着替え動作等の中で「これがあれば便利なのになあ…」と思うものがあれば相談してみてください。

# 満足度調査結果

## 環境について

・ 病院内の雰囲気について

対象者100名 平成24年12月

① 明るい	46	② 静か	49	③ 悪臭がする	0
普通	53	普通	44	特に感じない	92
暗い	1	騒がしい	0	回答なし	8
回答なし	0	回答なし	7		

・ 掃除について

① 行き届いている	96
行き届いていない*	1
回答なし	3

・ 室内の温度について

① 快適	95
暑い	3
寒い	2
回答なし	0

## 職員の対応について

・ 医師の対応はどうか？

① 非常に良い	24
良い	50
普通	23
あまり良くない	2
悪い	0
回答なし	1

### コメント

話を聞いてくれない  
先生がよく変わる  
(前医師との引継ぎが  
できていない)

・ 看護師の対応はどうか？

② 非常に良い	20
良い	59
普通	18
あまり良くない	0
悪い	0
回答なし	3

・ 診療放射線技師の対応はどうか？

③ 非常に良い	8
良い	34
普通	25
あまり良くない	0
悪い	0
関わっていない	5
回答なし	28

・ 事務スタッフの対応はどうか？

④ 非常に良い	31
良い	52
普通	16
あまり良くない	0
悪い	0
回答なし	1

# 外来待ち時間調査結果

分	10日(月)	11日(火)	12日(水)	3日間平均
受付から会計までの時間	52.9	46.3	29.2	47.1
受付から診察呼び込みまでの時間	25.4	26	13.9	24.5
受付にカルテを回してから、会計で呼ばれるまでの時間	8.9	5.9	4.4	6.9
平均診察時間	7.7	5.8	7	6.7

### 遅くなった理由

- ・ 処置等(点滴)で時間をとられた
- ・ 市健診(胃のレントゲンなど)あり
- ・ 内科・整形の二科受診のため
- ・ 電子カルテの入力(検査予約・紹介状などに)時間がかかった
- ・ 診察後に検査予約説明あり
- ・ 縫合処置あり



## 外来診察担当医表

		月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ~12:00	三好	土手	中村	休 診	麻植	担当医
	15:00 ~18:00	土手	中村	中村		宮森	担当医
内科(予約)	9:00 ~12:00	松本	松本	宮森		松本	西崎
	15:00 ~18:00		西崎				
整形外科	9:00 ~12:00	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木
	15:00 ~18:00	鈴木		鈴木		鈴木	
内視鏡(胃・予約)	9:00 ~12:00	担当医		担当医		担当医	
摂食・嚥下(予約)	13:30 ~14:00		松本				

## 基本理念

すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院および診療所を目指します。

### 理念に基づく方針

- ① 私達は地域医療機関や保健福祉施設と密接な連携をとり、きめ細かな心配りのある医療を目指します。
- ② 私達は患者さんに対して十分な説明をおこない患者さんの選択に基づいた開かれた医療をおこないます。
- ③ 私達は患者さんの権利の尊重とプライバシーの保護をおこないます。
- ④ 私達は患者さんに満足いただける医療およびリハビリテーションを目指します。
- ⑤ 私達は人の和を大切にチーム医療を進めます。